

講義名	流通システム論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	田中 康仁		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	11043

主題と概要

本科目は、流通・マーケティングやグローバルな流通の課題を分析し考察していくために必要となる流通システムの基礎知識や分析の枠組みを理解することを目的とした科目である。

一般に、生産者と消費者を結びつける活動が「流通」と呼ばれ、その機能は多岐にわたっている。一方、流通活動には生産者や消費者、商業者だけでなく、様々な個人・組織が関係している。つまり、莫大な数の個人・組織が関わって、それぞれの役割を分担しあいながら、多様な流通の機能を遂行している。

こうした流通の多岐にわたる機能を多くの人々で遂行していくためには、何らかの「仕組み」が必要になるであろう。この仕組みが「流通システム」である。本講義では、流通システムを理解していくための基礎概念や分析の枠組みを学ぶとともに、現代の流通システムの動向を考察していく。

到達目標

流通・商業に関する基礎知識を身につける。
 流通システムを分析する基本的な枠組みを身につける。
 現代の流通・商業の変化とその理由（あるいは理論）を流通システムの視点から説明できる。
 今後の流通システムの姿に関する構想や展望を考えることができる。

提出課題

授業理解度を確認する課題レポートを課す。

評価の基準

課題レポート、期末試験によって総合的に評価する。
 中間レポート：30%、期末試験：70%

履修にあたっての注意・助言他

私語厳禁
 座席指定
 この講義は、教科書の内容に沿ってパワーポイントを用いて行う。講義中に直接、教科書を参照するような指示は特に行わないが、講義は受講者各自が教科書を読むことを前提に進める。予習・復習を含めて自主学習をしっかりと行いつつ講義に臨むこと。
 講義の進め方やルール・評価方法に関する詳細の説明・確認は初回の授業に行う。

教科書

. 1からの流通論第2版.	石原武正・竹村正明・細井謙 碩学舎	2400	ISBN978-4-
---------------	-------------------	------	------------

プリント資料及び参考文献

適宜、配布および紹介する。

授業計画

- 1 ガイダンス、流通とは
- 2 百貨店と総合スーパー
- 3 食品スーパーとコンビニエンス・ストア
- 4 ディスカウント・ストアとSPA
- 5 商店街とショッピングセンター
- 6 小売業態とは何か
- 7 小売を支えるロジスティクス
- 8 インターネット技術と新しい小売業態
- 9 小売を支える卸
- 10 流通構造とその変容
- 11 日本型取引慣行
- 12 小売を中心とした取引慣行
- 13 売買集中の原理と品揃え形成
- 14 商業とまちづくり
- 15 製販連携の進展

予習・復習

- * 各回の講義資料（教科書）の予習：各1時間×14回＝14時間
- * 各回の講義内容の復習：各30分×15回＝7時間30分
- * 中間レポートの作成：4時間
- * 期末試験の準備：4時間30分

備考